

過去があるから、今がある、未来に活かす

難波の梅小学校区

難波小学校区

★幻の国技館



建設予定地だった現扶桑町

昨年3月27日に実施した「中央ぶらぶらウォークラリー」に参加された方は記憶に残っているかもしれませんが、実は現扶桑町（旧北難波町）は国技館建設予定地だったのです！

昭和11年8月5日付の神戸新聞に国技館計画を伝える記事が掲載されました。「阪神大国技館」という名称で昭和12年7月の完成を予定し、工期は1年、面積は5,250坪、建坪は1,542坪。鉄骨5階建てで、スタイルは東京と同じ、総収容人数は13,909人（後日、他記事では、約25,000人）にのぼり、本家である両国国技館をしのぐ規模だったといえます。しかし、昭和12年6月、一足先に大阪市東のはずれに「大阪大国技館」が完成しました。この大阪大国技館に先を越されたということが大きく影響し、阪神大国技館は幻に終わったのです。



幻に終わった阪神大国技館ですが、実際に尼崎市に建設されていれば、すごく盛り上がりだったのではないのでしょうか。というのも、難波八幡神社の宮司上村道忠さんによると、戦前～戦後頃は相撲好きな人が多く、四股名（相撲における力士の名前）を持つ人もたくさんいたようで、「宮錦」などお互いを四股名で呼び合っていたとか。

また、当時は土俵のある宮が多く、よく宮相撲が行われていたそうです。秋祭りの後には相撲が行われ、お酒やお米が振る舞われていました。上村さんの曾祖父にあたる4代前の宮司上村道賢さんも相撲が好きだったそうで、富松神社で相撲をとっていた程だそうです。

〔参考文献: 尼崎相撲ものがたり〕

★軍艦「榛名（はるな）」のマスト

難波八幡神社の境内に、軍艦「榛名」のマストが奉納されているのはご存知でしょうか。

軍艦榛名は最前線で主要海戦の多くに参加しており、損害を受けることがありましたが、駆逐艦雪風などとともに「日本海軍の武勲艦」と評されることが多い軍艦だそうです。

除籍、解体された後、このマストは打ち捨てられ、放置されていましたが、県立塚口病院を建設する際に発見され、縁あって難波八幡神社へ移設されました。



難波の梅小学校区担当
いまなか

三角公園（東難波子ども広場）近くの不思議な道路？

難波小学校北側にある三角公園（東難波子ども広場）からの斜めの道を御存じですか？
今回この道路についていろいろ調べてみました。

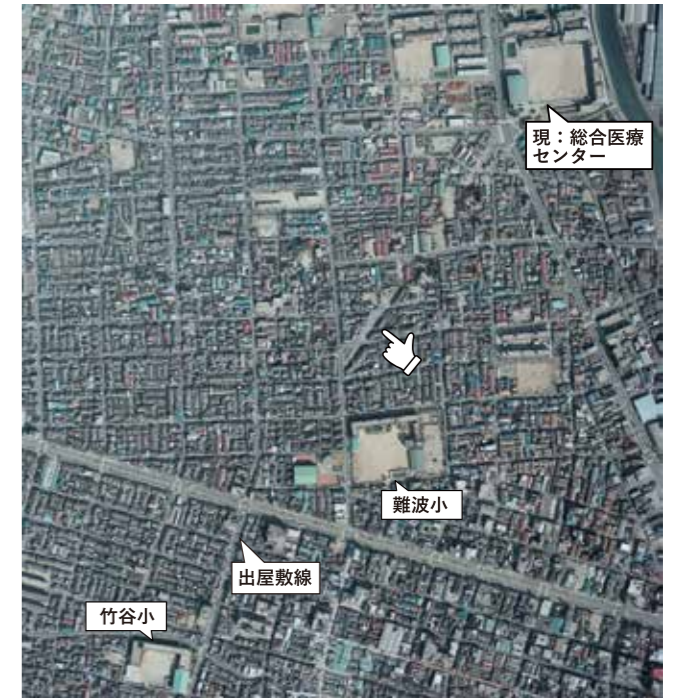


昭和4年(1929)に阪神出屋敷駅東側の出屋敷線と国道2号線を経由して五合橋線（現在の総合医療センター南交差点）へ繋ぐ計画が決定されていました。

昭和4年(1929)5月9日、兵庫県庁において開催された都市計画兵庫地方委員会において「尼崎都市計画街路の決定」がされました。

一方、「尼崎都市計画街路の決定」がされる約1年前の昭和3年(1928)5月5日には、西難波の土地区画整理事業が竣工（完成）しましたが、尼崎都市計画街路の決定との関連性は不明です。

しかし、年月が経ち周辺道路の十分な整備や予定地に多くの住宅などがあることから、尼崎市都市計画道路網の見直しにより平成29年(2017)に計画が廃止されました。



1975年撮影 国土地理院撮影
カラー空中写真（国土交通省国土地理院所蔵）

【参考】

（以下、都市計画兵庫地方委員会議事速記録）

尼崎市大洲村字東浜新田五番ノ割三十九番地ノ五ヨリ大洲橋ヲ経、同竹谷新田字堤ノ下東ニ至リ阪神電気鉄道線線路ヲ横切り、同昭和通八丁目地内国道二号（新国道）ニ至リ右折シ、同東難波村字北ノ口四百七十七番地ニ至リ前号（前号とは五号橋線のこと）ニ接続スルノ路線幅員二十七米 と記録されています。（尼崎市史第8巻より）

上記の写真で、三角公園北東の道路の延長線上に総合医療センター南交差点北西の斜め道路に繋がっていることがわかるかと思います。



難波小学校区担当
きのした

過去があるから、今がある、未来に活かす

竹谷小学校区



竹谷新田村及び出屋敷絵図（一部）

現在の琴浦通りから南側エリアの明治末期から大正5年(1916)までの様子を描いた「竹谷新田村及び出屋敷絵図」(昭和54年-1979-作成・歴史博物館蔵)から見える、昔と今を比べてみました！

出屋敷駅は今と違う場所にあった…！

明治38年(1905)にできた出屋敷駅。当時は、中国街道が今の西本町7丁目、8丁目あたりを通過していて、商店がたくさん並び栄えていたので、この辺りに駅が作られました。最初は1両で走っていた電車ですが、編成が長くなるに従って、ホームが足りなくなり、芋畑で整備しやすかった現在の場所へ移ったと思われます。大正9年(1920)の地図を見ると、出屋敷駅は現在の位置に描かれていました。



現在の西本町8丁目



出屋敷駅があったと思われる場所(西本町7丁目271付近)

竹谷小学校になる前はなんと…！

かつて中国街道の周辺以外は芋畑や田んぼが広がっていたそうです。芋畑の収穫が終わると、「沢山の廣さん」という方が、馬車馬を集めて「草競馬」を催していたそう。その草競馬を行っていた場所が、今の竹谷小学校！草競馬場が小学校になるって、歴史って面白いですね。



「竹谷新田村及び出屋敷絵図」の全体図が気になる方は、歴史博物館内のあまがさきアーカイブズへ♪

ずっとこの地域に住まれている方にもお話を聞きました



昭和30年(1955)の新三和商店街

新三和商店街は衣料品屋さんがひしめき合っていたそうです。現在の西川呉服さんがある場所に、かつては尼信さんの支店もあったそうです。

出屋敷線から阪神本線に向かって東西に細い道が走っていますが、かつてここは中通り商店街で、靴屋さんばかりが並んでいたそうです。昭和34年(1959)の地図を見ても確かに靴屋だらけ！お客さんの取り合いの喧嘩が絶えなかったそう…。



竹谷小学校区担当
くきの

阪神本線の南の通りには新道商店街があり、こどもとても賑わっていたそうです！小さい頃は、おつかいと言えばこのあたりに行って、お醤油などを買っていたとのこと。お話を聞かせていただいて、出屋敷のあたりは買い物に困らないエリアだったんだと改めて感じました。



昭和39年(1964)の南竹谷町1丁目の様子

明城小学校区

明城小学校エリアの今と昔、比べてみた！！

突然ですが問題です！右上の写真は、とある場所の約100年前を写したもののなんですか…どこだと思いませんか！？

正解は、現在の国道43号線です!! (右下の写真) どうやら約100年前は商店街として栄えており、本町通商店街と呼ばれていたそうです。東は辰己八幡神社、西は貴布禰神社までの全長約2キロにも及ぶ商店街通りで、「旧城下の本町通商店街は阪神間随一」と言われていたそう。戦時中の疎開により、撤去されたことに加えて戦災被害もあり、戦後は現在の中央商店街の場所に移り、新たな商店街として生まれ変わりました。ちなみにカマゴコ屋の枡千もここにあったそうです。

43号線の歴史としては、昭和10年(1935)頃になると交通量が増えていき、国道2号線にも渋滞が発生しました。新たな国道建設の声が高まるものの、戦時下においては道路建設の余裕はなく、実現は戦後に持ち越されます。そして昭和32年(1957)に工事着工し、昭和45年(1970)に、大阪市内を含む全線が開通しました。

43号線北側にある本町ビルなど、わずかに本町通商店街の名残のある建物を目にすることができます。

築地の今と昔について聞いてみた！！



築地地区は、明城小学校より43号線を越えた南側に位置しており、だんじり祭りで有名な町です。道路も広く、綺麗な町ですが…実はホンの数十年前は、今とは全く異なる町でした!! 平成7年(1995)の震災による液状化現象によりほとんどの家屋が倒壊してしまいましたが、現在はとても綺麗な街に復興しております。

左側上・下の写真は同じ位置(?)で撮影したもので、約50年前のもので。当時の記憶から場所を割り出してくださった築地の会長さん、ありがとうございます!!



なんと！当時の本町通商店街の地図を地域の方が貸してくれました!! 気になる方は、ホクまでお尋ねください!!



明城小学校区担当
やまもと

城下町の明城小学校区 街をきれいに！！

5月15日(日)10万人わがまちクリーン運動に参加した子ども会のリーダースクール生たち。阪神尼崎駅南側の歩道の植え込みの中や、公園などを約40分かけて地域の大人たちに混じって真剣にゴミ拾いをしてくれました！



あつまれ！明城 みんなで楽しもう！！

5月22日(日)明城小学校体育館で行われたレクリエーション大会。1部では8つのブースに分かれ、手作りゲーム(缶積み、ストラックアウト等)で楽しみました。2部では運動系のレクリエーションとして、玉入れ陣地や障害物競争、全員リレー、○×ゲームで盛り上がりました！子どもから大人までみんなで一緒に楽しめ、たくさんの笑顔が輝いていました。



子どもたちの元気いっばいな声が響き渡る明城校区！地域と共に大人も子どもも笑顔で過ごせるようご協力よろしくお願いいたします！

明城小学校 コーディネーター 仙波琴音

講座・イベントの 持込企画を募集！

～梅プラザでやってみたい事ありませんか？～



整理収納の講座
やってみたい！

子ども達が
楽しめるイベント
やってみたい！



対象

主に中央地域在住の人、団体、企業が企画する、一般市民が対象の講座・イベント・講演会など

ルール

[主なもの]

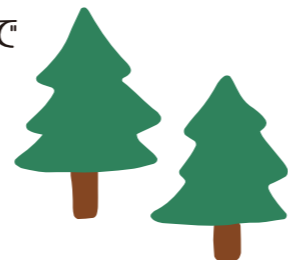
- ・原則、参加費は無料であること(実費相当額のみ材料費除く)
- ・定員は10人以上400人以下であること
- ・同じ団体・人の企画は、1年度1回
- ・中央地域課共催のため、会場使用料は不要です
- ・講師謝礼は、企画持込側に負担いただきます
- ・チラシは企画持込者に作成いただきますが、広報支援(市報掲載など)は中央地域課が行います

ルール詳細は
お問い合わせ
ください！

イベントなどに使えるレクリエーション用具を 無料で貸し出しします

- 貸出対象は？：中央地区内で実施する各種イベントなど
- 申込は？：貸出を受ける日の半年前から7日前まで
- いつから？：イベント実施日及びその前後2日以内

お問い合わせは中央地域課へ ☎06-6482-1760
Fax06-6489-9300



イベント用 テント

- ・ イベント用テント
(大) 約2.8m×約5.6mワンタッチ式 9張
(小) 3m×3mワンタッチ式 9張
- ・ テント用重り (16個)

スピーカー &マイク

- ・ スピーカー (アンプ内臓)
ワイヤレスマイク2本付き (2台)
*有線マイクも追加可
- ・ マイクスタンド (1脚)

- ・ 石臼及び白台 (3セット)
- ・ 杵 (大人用・子ども用) (各6本)
- ・ せいろ (3台)
- ・ 羽釜 (2個)

もちつき大会

etc...

